

ねじり杉さん わたしたちの成長を見守ってね



おまの目録
 2~3ページ 当白山スキー場開場
 4ページ 桜の咲く上れる村へ
 5ページ 肥前は万原のもと
 6~7ページ おおむねの管理を乗り継いで
 8~9ページ おしどり夫婦。カツパ祭
 老人工芸品展
 10ページ お忘れなく。行事予定

私たちの村の
 () 内は前月比
 ■人口 男 3,456 (-1)
 女 3,517 (-6)
 計 6,973 (-7)
 ■世帯数 1,639 (+1)

行事予定表

5月11日～6月10日	
12 (日)	休日救急医(津南病院☎65-3161) 村民テニス教室(清田山自然運動公園9:30～申込み公民館まで)
13 (月)	ツベルクリン反応検査(右参照) 健康相談日(保健センター9:30～16:00)
15 (水)	農地法関係許可申請/切 高齢者講座(老人と交通安全、倉俣生活改善センター9:30) レントゲン検診
16 (木)	レントゲン検診
17 (金)	心配ごと相談日(老人福祉センター13:00～16:00) 1歳6か月児検診(右参照)
19 (日)	休日救急医(山田11病院☎52-2174)
20 (月)	ツベルクリン反応検査(右参照) 秋田運転追放の日
21 (火)	妊婦検診・母親学級(右参照)
24 (金)	心配ごと相談日(老人福祉センター13:00～16:00) 3歳児検診(右参照)
26 (日)	休日救急医(池田病院☎52-2581)
27 (月)	ツベルクリン反応検査(右参照) 健康相談日(保健センター9:30～16:00)
28 (火)	16%映写操作講習会(総合センター19:00～21:30) 申込み期限5月24日、公民館まで
30 (木)	消費者の日
31 (金)	心配ごと行政相談日(老人福祉センター13:00～16:00) 5歳児検診(右参照) 16%映写操作講習会(総合センター19:00～21:30) 気象記念日
1 (土)	休日救急医(上村病院☎63-2111)
2 (日)	休日救急医(上村病院☎63-2111)
3 (月)	交通事故移動相談所(十日町市役所10:00～15:00)
4 (火)	日本脳炎・予防接種(右参照) 歯の衛生週間
5 (水)	環境週間
7 (金)	心配ごと相談日(老人福祉センター13:00～16:00)
9 (日)	休日救急医(津南病院☎65-3161)
10 (月)	交通安全家庭の日 時の記念日

※変更する場合があります。御用の際は担当課で確認を。

昭和十二年七月、支那事変の際、満州国五常県小山市で警備に当たっていたときの写真です。わたしの戦争体験の中で九死に一生を得たのは、大東亜戦争のとき、交替のため真夜中揚子江を船で下る途中、米軍の爆撃を受けたときです。幸い船が岸に乗り上げたので、死にもぐりこぼさずに済んだ。その頃、網が途中で切れ落ちてしまいました。この時も運よく砂の上だったため助かりました。このとき四千人の内二百人ほど亡くなりました。



右端が上原さんです

たかは 上原文吉さん

お忘れなく



- ツベルクリン反応検査及びBCG (S59.1.1～59.12.31生)
 - 5月13日/14:00～15:30/保健センター/倉俣地区、貝野地区、高道山地区、清津峡地区、土倉、倉下
 - 5月20日/14:00～15:30/保健センター/桂、田中、小原、干溝
 - 5月27日/14:00～15:30/保健センター/山崎、通り山、芋川新田、未接種者
- 日本脳炎 (初回、S56.4.1～57.3.3生まれ、追加者S55.4.1～S56.3.3生まれ3歳以上の未就学児)
 - 6月4日/14:00～15:30/保健センター/倉俣地区、貝野地区、高道山地区、清津峡地区、土倉、倉下
- 妊婦検診
 - 5月21日/13:30～14:00/上村病院
- 母親学級
 - 5月21日/12:30～13:00/上村病院/産褥と赤ちゃん保育
- 乳幼児検診
 - 5月17日/13:00～14:00/保健センター/1歳6ヶ月児
 - 5月24日/13:00～14:00/保健センター/3歳児
 - 5月31日/13:00～14:00/保健センター/5歳児

上村病院に皮膚科

4月1日から上村病院に皮膚科が新設され皮膚病の治療が行われています。

今月の表紙

天然記念物として、県の指定文化財に指定された、角間のねじり杉。このねじり杉を表紙にと思い近所の子どもたちをモデルに写しました。この写真のために取付けてあった金網をはずしていただきました。

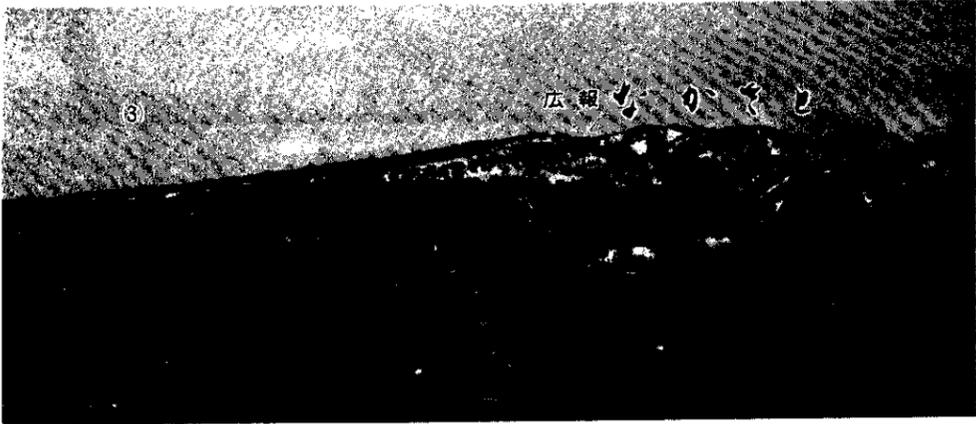
編集後記

六月の村づくりシンポジウムを最初に村制施行三十周年記念事業が次々と実施されます。これは、三十年の歴史を振り返り、更に村の発展を願って行われるものです。村の人口も、七千人台を割ってしまいました。三十周年記念事業を契機に村づくりの意識を高めたいものです。

県広報コンクールで知事賞になった「雪穴と老人」の写真が、全国広報コンクールで入選五席に選ばれました。

地域 振興へつなげよう

スキー場開発計画



▲倉俣の原より当間山を望む

中里村のレクリエーション基地として有望視されていた当間山にスキー場開発の申し入れがあつて早や四月月が過ぎようとしています。村では特に関係地域の理解を求めながらスキー場開発推進の方向で動いています。今回、スキー場開発の概略をお知らせいたします。

開発の推進を打ち出す

昨年の暮れ安達事業グループ(会長、安達建之助氏)からスキー場開発の申し入れがありました。

上村村長は、一月十七日関係集落の代表者、議長、副議長、産業経済委員長、同副委員長等が集まった席上スキー場推進の方針を打ち出しました。その後、地元説明会、地元関係者の上越国際スキー場視察、スキー場予定地の視察などを進めてきました。

スキー場建設には、保安林の解除などのいくつかの行政的な問題の解決と地元地権者の合意を得る必要があります。

村では、このチャンスを生かすため、二月二十七日当間山麓開発促進協議会を設置して推進に努めています。

現在、安達事業グループによる開発計画が練られて

いる段階です。早ければ七月には計画図ができ、地元地権者と具体的な話し合いに入る予定です。

出稼を解消と地域振興に

スキー場の建設で地元が受ける効果は、どんなことが考えられるでしょうか。

一、雇用の場の拡大
現在、農業従事者の多くは、冬期間出稼を余儀なくされていますが、スキー場建設で冬場の仕事ができ出稼の解消になります。

二、消費の拡大
飲食関係、生活用品の消費が拡大するとともに、スキー用具の貸し出し、宿泊業、土産店、輸送業(バスタクシー)などに及ぼす効果が期待されます。

三、過疎化の防止
農業立村とはいえず、農業後継者が少ない現状です。

広く雄大な斜面

標高八百五十坪の小七川三角点を頂点とするスキー場予定地には、白羽毛、市之越、鷹羽に降りる三コースが計画されています。このコースに、ゴンドラ一基、リフト三基が架けられる予定です。また、第二期工事では、小七川三角点と当間山頂の谷あいには二本のリフトが架けられ、塩沢の上越国際スキー場と当間山スキー場がつながる計画です。

三角点から白羽毛に降りるコースは、標高差五百坪、ゲレンデ長二キロとスケールも大きく苗場山麓や魚沼の山なみを一望できます。市之越、鷹羽に降りるコースは、広く雄大な斜面が

とれ、初中級者に最適です。変化の求められている現在、塩沢国際スキー場、同当間山スキー場と中里側のスキー場が結ばれば、延六百坪の広大なスキー場となり、スキー客の増大が期待されます。

六十二年十二月オープンをめざして

安達事業グループの計画では、スキー場のオープンは、国道三五三号線の無雪化の実現する昭和六十一年度になる見込みです。中里村側に計画したゴンドラ一基とリフト二本の総工費は約二十億円で一年で完成する計画です。

中里村側のスキー場予定面積は、二百坪で、十日町の当間山スキー場、塩沢の上

スキー場建設で村の活性化を



当間山麓促進対策協議会 会長 服部安二郎さん

昨年2月、上越国際スキー場を経営する安達事業グループから、スキー場開発の申し入れがありました。村ではそれを受けて積極的に取り組んでいます。スキー場建設によって雇用の拡大消費の拡大、過疎化の防止等が図られると思います。このような大事業を遂行するには、地権者のみなさんのご理解、ご協力は申すまでもありませんが、開発地域の人たちや村民各位のご協力を切にお願い申し上げます。

スキー場建設によって、冬場の就労の場が確保されれば、夏場の農業と組合せ後継者対策にもつながるものと思われれます。また、都会の若者が訪れることで、男女の出会いの場も増え、嫁婿対策にもつながるものと思われれます。

四、青少年の冬季スポーツの振興に

現在、村内にスキー場がなく、雪国に生まれながらアルペンスキーが苦手な人が多いようですが、スキー場が完成すればスキー教室もでき青少年の冬季スポーツの場として活用できます。この他にも、特産物の販売などスキー場建設を生かす方法はいろいろと考えられます。

有利な立地条件

一つ山を越えた上越線沿線には、昨シーズン五百九十万人のスキーヤーが訪れています。仮に一人のスキーヤーが、一万円平均使用したとしますと六百億円にもなります。

上越新幹線の開通とともに、上越沿線を訪れるスキーヤーは、年々増えていきます。また、今秋、関越自

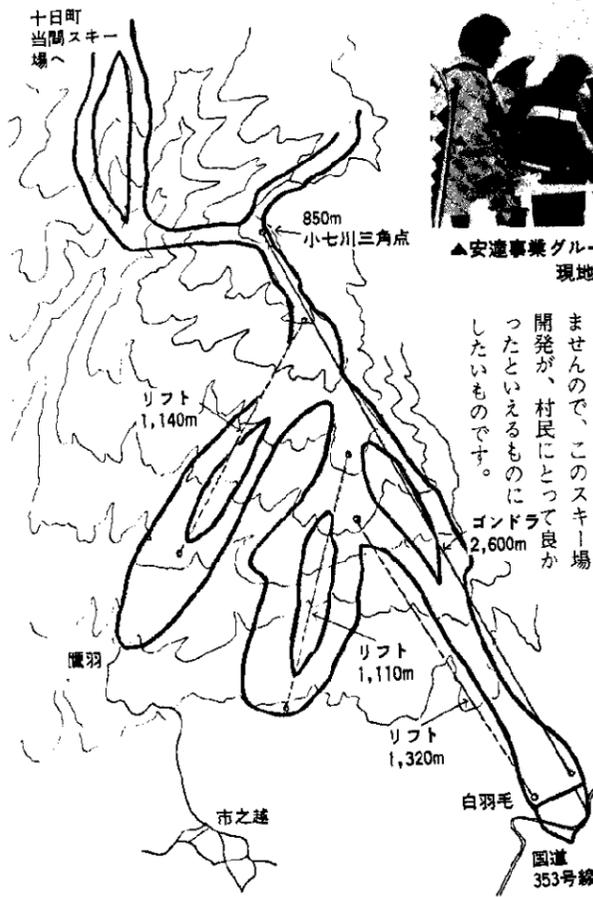
越国際スキー場と合せますと六百坪という大規模なものとなり、上越沿線に類を見ないスキー場となります。中里村には、当面宿泊施設

活性化を図るには

自然を一度開発してしまえば元に戻りません。このスキー場開発を地域の活性化につなげる方策を考える必要があります。それにはスキー場内に村の特産物を販売できる場所を確保したり、消費物資の地元仕入方

式、地元民の優先雇用などの条件を、安達事業グループとの協定書の中に盛り込む必要があります。高度成長期に、大型資本が開発した中には、地元が活性化に結びついていないものが多いとの指摘もあります。この辺の問題をしっかりと考えていく必要があります。

しかし、慎重になりすぎても、地域の活性化は図れませんので、このスキー場開発が、村民にとって良かったといえるものにしてほしいものです。



▲安達事業グループから現地説明を受ける



▲白羽毛に降りる斜面、職員視察



▲白羽毛に至るスロープを望む

安達事業グループ紹介
安達事業グループは、昭和三十七年に東京と大阪にデザインナー学院を創設したのが始まりです。今では関連企業三十三社を擁し年商七百億円といわれています。
昭和五十五年、塩沢の上越国際スキー場の経営を引き受け、苗場国際、石打丸山スキー場に次ぐスキー場に開発しています。十日町の当間山スキー場の開発も進めています。



▲こぶし会の協力で減量メニューが

肥満は万病のもと

肥満教室に参加して

倉 保 高野ヒサさん

肥満教室に参加し、砂糖を減らすことと間食をしないことを努力目標にかかげました。今までは、かくし味とかいって酢の物や煮物に砂糖を入れていましたが、それを極力押えています。毎日の食事の記録をしています。バランスのとれた食事づくりは、難しいと感じています。運動不足を解消するために、夕食後30分くらい軽いかけ足をしています。

健康が第一ですので、今まで飲まなかった牛乳も家族で飲むようにしています。

わたしたちは、太っていることに対して「賈ろくがある」福よかでない」といったイメージをもっています。このため、太っていることに対して案外無頓着です。しかし、肥満は万病のもとといわれているように肥満から高血圧、糖尿病、動脈硬化を併発しやすいといわれています。

昨年八月に実施した村民健康検診でも受診者千四百四十七人中、二百六十八人(一四二%)が肥満でした。この内、男性十九人、女性百八十七人と女性が圧倒的に多くなっています。年代別で五十歳～五十九歳が一番多く、次いで六十歳～六十九歳となっています。この結果からも分かるように肥満の大きな原因は、運動不足と栄養の取り過ぎ(かた

より)です。一日の摂取エネルギーよりも消費エネルギーの方が少なければ太るのは当然のことです。

村では、昨年度二回肥満教室を開催し、肥満の解消を図ってきました。この教室に参加した人々の中には、身体が軽くなった、足の痛みがなくなったという声がかれました。

バランスのとれた食生活を減量には減食といわれていますが、現在では、バランスのとれた食生活の中でカロリーを抑えるよう指導されています。減量は短期間にやろうとしますと、体力の低下や貧血など健康上いろいろな弊害がでます。減量は、強い意志と計画性をもって長い期間をかけることが大切です。減量とい

るような泳いでいます。これからは約一カ月くらいかけて、昼は浅瀬でエサを食べ、夜、生まれた川に未練を残しながら下流へと下っていきます。河口で海水が十五度になるのを待ちながら北洋行きの体力を養うといわれています。三、四年して帰ってきたサケは、河口から何も食べずに必死に生まれた川に卵を生むため上ってきます。

このすばらしいサケが上つてくれるよう、自然環境を守り育てていきましょう。



▲傷をつけないようにタモで稚魚をすくう



▲まっと帰ってくるんだぞ。願いをこめて。



▲わが子を送り出す心境で

サケの上つてくる村に

清津橋の上からサケの上るのが見られる。これが実現できれば素晴らしい光景でしょう。中魚沼漁協ではこれを実現させるため、七年前からサケのふ化放流事業を行っています。今のところ様々な問題で成果はあまり上がっていませんが、この事業をいつまでも継続したいものです。

「サケの上る清津川」を夢見て、サケの放流事業に信念を燃やしている人がいます。この人は、中魚沼漁協の理事をしている上村忠男さんです。上村さんは、清津橋下流にあるふ化場に雪の日は胸まである雪をこ

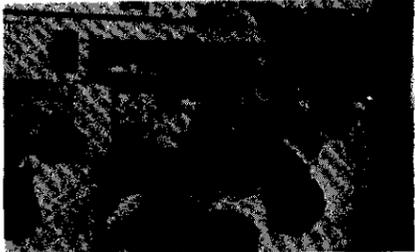
二百九十万匹に達しています。清津川でツツに入ったサケはこれまでに四匹しかいませんが年に百匹くらいは信濃川ないし清津川に上つてきていると思われま

四月十日、例年より約一カ月遅れで、サケの放流が宮中のえん堤下流で行われました。放流が遅れたのは、サケの不漁で寺泊りから仕入れられず、北海道北見地方の斜里ふ化場から急ぎよ取り寄せたためです。

体長四〇、目方〇・八〇の稚魚約四十万匹は、雪どけの冷たい信濃川に吸い込ま

れるように泳いでいます。これから約一カ月くらいかけて、昼は浅瀬でエサを食べ、夜、生まれた川に未練を残しながら下流へと下っていきます。河口で海水が十五度になるのを待ちながら北洋行きの体力を養うといわれています。三、四年して帰ってきたサケは、河口から何も食べずに必死に生まれた川に卵を生むため上ってきます。

このすばらしいサケが上つてくれるよう、自然環境を守り育てていきましょう。



▲賢い消費者になるために

「いいじゃない」はっきりした態度を

山々に若葉が燃える季節が雪国にとってこの季節があるからここに住んでいられるのではないかと感じます。雪国の雪どけを待ちかねたように、フトン、消火器教育資料などの訪問販売員がやってきました。

毎年のように、訪問販売員の巧みな話術にはまり必要のないものまで買ってしまったという

ケースが絶えません。セールス「たら、優柔不断の態度はいけません。その商品がいま必要であるか否かを判断し、必要なかったら「いいじゃない」とはっきり断りましょう。特に、留守番をしているお年寄りの被害を耳にしますが、ほしいと思って家族と相談してから決めた方が無難です。

中里生活消費生活の中でのトラブルの相談に応じ、よりよい消費生活を送るために中里村消費生活改善協力員がいますので紹介いたします。

富井 三枝 如来寺町三丁目
富井 ミヨノ 市之越町三丁目
山田 タケノ 角 間宮町三丁目
斎藤 アキ子 保倉町三丁目
南雲 シゲ 堀之内町三丁目
お気軽に相談してください。



定住できる村へ 第三期山振事業始まる

第三期山村振興農林漁業対策事業が、今年度から実施されます。この事業は、地域の特性に応じた農林漁業の振興、安定した就業機会の確保、生活環境の整備、高齢者の生きがい対策等を実施し、山村地域の振興を図ろうとするものです。村では林野率、人口などの関係で倉俣地区が指定を受けています。今年度から五カ年計画で、多目的集會施設やほ場整備、林道開設が実施され総事業費は、約一億円になる見込みです。

★昭和六十年
・多目的集會施設(下山)

黄色のコウモリプレゼント

四月ピッカピカの小学一年生になった児童に、中里村交通安全協会と中里村建設協会から、黄色いコウモリとランドセルカバーが贈られました。

中里村交通安全協会は、事故を一つでも減らそうと広報パトロールや看板の設置などを行っています。み

- ★昭和六十一年度
- ・多目的集會施設(原町)
 - ・ほ場整備(二加(倉俣))
 - ・一六加(重地)
 - ・林道開設三〇m(西方)
 - ★昭和六十二年度
 - ・ほ場整備(二加(下山))
 - ・林道開設二〇m(西方)
 - ★昭和六十三年度
 - ・林道開設五〇m(西方)
 - ★昭和六十四年度
 - ・多目的集會施設(芋川)
 - ・林道開設二八〇m(西方)

なさんの身の回りで、歩行者やドライバーにとって危険な場所がありましたら、安協の支部長さんまでご連絡ください。

会 長 杉谷清六 荒屋
副会長 渡辺三雄 山崎
支部長 金沢紀一 田沢
桑原徳重 山崎
山田源吉 程島
高橋定利 倉俣
村山正利 富中

減らない飲酒運転

今年に入って、村内の人が飲酒運転で検査された数は、八人になっていました。事故を起したらどうするんですか。飲酒運転は、絶対をやめましょう。



田畑のあぜを焼くのに届け出

森林または、森林の周囲1割の範囲内にある原野、荒地等の土地に造林のための地ごしらえ、開墾準備等で火入れを行う場合は、村長の許可が必要です。この規定に該当するものとして、田畑の畦畔(アゼ)、稲ワラ焼きも含まれます。

火入れを行う場合は、火入れをする7日前までに申請書2通と土地及びその周囲の現状、防火設備の位置を示す見取図を添えて役場開発課に提出してください。

詳しくは、役場開発課まで。

すでに山火事2件発生

農作業のため枯草等を燃やしている2件の山火事が発生しています。幸い2件とも最小の被害でくいとめられましたが、ちょっとした風向きの違い等で大火災になりかねません。上段の記事でも紹介したように、森林の周囲1割の範囲内での火入れは許可が必要です。

たき火等をするとき、次のことに注意をしましょう。

1. たき火の場所を離れるときは必ず消すこと。
2. 風の強いときや空気の乾燥しているときは、たき火や火入れはしないこと。
3. 火入れの許可は必ず受けること。
4. タバコの吸いがらは完全に消すこと。
5. 車からタバコの吸いがらを投げないこと。



この作品は山田まゆみさんの協力で見られています。

広域消防職員 消防詰所へ

十日町市、津南町、川西町、中里村で十日町地域広域消防署を組織しています。中里村には、分遣所が無いので広域消防から2人の職員が役場に常駐しています。

このほど、常駐職員が消防詰所(自動車ポンプ格納庫)に移ることになりました。消防事務の連絡は☎63-2536まで。

火災の連絡は**まず119番** つぎに**2511**役場まで

犯罪捜査にあなたの力を

事件を早く解決するためには、みなさんからの情報がぜひとも必要です。犯罪に関して見たり聞いたり、知っていることは、どんなに細なことでもけっこうですから積極的に通報してください。

◎事件の発生を知ったときには、すぐ110番通報を。

110番通報があるとただちに警察が現場に急行するとともに、緊急配備等が行われます。

◎被害にあったときには必ず届出を被害が少なかったことや周囲の目にごだわらず必ず被害届を出してください。最近、他人のことに無関心、面倒なことにかかわりたくないという風潮が強くなっているため「聞き込み」が大変難しくなっています。協力いただいた人にご迷惑をかけるように配慮していますので、ご協力をお願いします。

古い写真ありませんか 村制30周年記念誌発行

村では、村制施行30周年を記念して記念誌の発行を進めています。役場には、中里村が誕生した当時の古い写真がありませんので、みなさんからお借りしたいと思います。ぜひ、ご協力ください。

★お借りしたい写真

昭和30年以降のもので、村の行事や集落の行事などの写真。また、現在とまったく変わってしまった建物や道路。係ではどんな写真でも見せていただきたいと考えていますのでご一報ください。

★連絡先 30周年記念事業実行幹事会(事務局 総務課)まで。

簡易保険・郵便年金 作文コンクール作品募集

郵便局の簡易保険、郵便年金作文コンクールは、昭和37年開始以来、24回目を迎えます。今年も下記の通り募集しますのでふるってご応募ください。

★募集期間 5月1日～6月30日まで

★応募資格 小学生5～6年生 中学生

★テーマ 課題⇒簡易保険、郵便年金に関係するもの。自由⇒日ごろ考えていることや感動したこと。

★原稿枚数 小学生⇒1,200字程度 中学生⇒1,600字程度

★応募先 越後田沢郵便局、または近くの郵便局まで

調理師試験のご案内

昭和60年度の調理師試験が下記の通り行われます。

★日時 7月10日

★場所 六日町

★願書受付 5月28日～6月4日まで 十日町保健所

★合格発表 7月30日

詳しくは、十日町保健所まで (☎57-2400)

保険料免除はお早目に 国民年金

国民年金には、当然に加入しなければならぬ人、保険料を納めるのが困難な場合に、保険料を免除される制度があります。(1)失業して所得がない。(2)火災や風水害、事故等で被害を受けた。(3)家計が苦しい……などの事情で「今年はどうも保険料を納めていられそうもない」というような人は印鑑を持参のうえ、役場年金係で免除の申請手続きをしてください。

つり堀りオープン

養魚場のつり堀りが、4月14日からオープンしました。春の陽ざしのなか親子でつり糸を垂れてみませんか。清津川の清流で育った鯉がたくさん放してあります。

★利用料金

大人1時間 600円但し3時間目から 子供 300円 100円割引 竿代…ヘラ竿 150円 竹竿 50円

ねたきりの お年よりに見舞金

村では、在宅でねたきりの老人に対して、「ねたきり老人見舞金」を支給し病床者をなくさめるとともに、老人福祉の推進を図っています。

★対象者 村内に住所を有する65歳以上の人で、在宅で引き続き6カ月以上ねたきりで常時介護を要する人。

★見舞金 1人月額 3,000円

★申請者 介護をしている家族。

村では、老人福祉相談推進委員協議会(会長小林豊政氏)を発足させ、老人の自殺事故の防止や相談活動の充実を図っています。

詳しくは、社会福祉課福祉係まで。

あせりが事故の元

春の農作業に忙しい時期です。普及著しいトラクターでの事故が発生しやすい季節です。村内の多くの水田は、一区画5a程度で、そこに行くまでの道路も狭く危険がいっぱいです。

ブレーキペダルやクラッチペダルに泥がついていて、おまわぬ事故を起こすことがあります。農作業の機械化によって事故が多発しています。時間に余裕をもって、あせらずに農作業をしましょう。



お知らせ

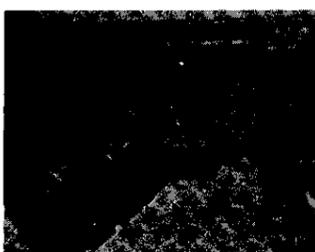
お知らせ

お知らせ

お知らせ



▲苦勞を乗り越え現在の 奮闘をつづけた人たち



▲開拓の歴史を述べる村山さん

中里村開拓四十周年記念式典が、去る四月十九日総合センターで開かれ七十七人の関係者が集まりました。終戦直後の昭和二十年国策として食糧不足に対応するため緊急開拓事業が実施されました。村では、東田沢、豊里、たか羽、原町、新里に六十六戸が入植し五集落が誕生しました。入植当時は電灯もなく、共同であばら屋をつくりながら、腕と歌一本で雑木林を開墾

し農地を拡大し今日に至っています。この間の苦勞は言語に絶するものでした。式典の中では、実行委員長の村山友二氏が開会のあいさつをした後、日の目を見ずに亡くなられた十八人の同志に黙とうが捧げられました。つづいて東田沢の村山由一氏が開拓四十年の歴史を万感の思いを込めて朗読されました。その後、開拓組合が長年にわたってお世話になった元村長高橋幸作氏と開拓事務所書記をしていた南箕俊男氏に表彰状と記念品が贈られました。祝辞に立った上村村長は、開拓者の長年の苦勞をねぎらうとともに、これからも農業の振興にご尽力くださいと話されました。祝宴の席では、なつかしい同志と、苦しかった入植当時の思い出を語りあっていました。

昭和五十六年四月から本格的に進めている村史編さん作業も、いよいよ資料編上巻が発行される段階を迎えました。先般、全戸を対象に申込みをとりましたが、配本は五月中旬になる見込みです。村史は、資料編上・下巻、通史編上・下巻の合計四巻



- ★口絵
- ★解説(考古資料)
- ・旧石器時代
- ・原始時代編年表
- ・発掘状況写真
- ★図版編
- ★資料編(古代・中世)
- ★付録
- 一冊二千元
- 一家に一冊備えておきましょう。

資料編上巻の紹介

昭和五十六年四月から本格的に進めている村史編さん作業も、いよいよ資料編上巻が発行される段階を迎えました。先般、全戸を対象に申込みをとりましたが、配本は五月中旬になる見込みです。村史は、資料編上・下巻、通史編上・下巻の合計四巻

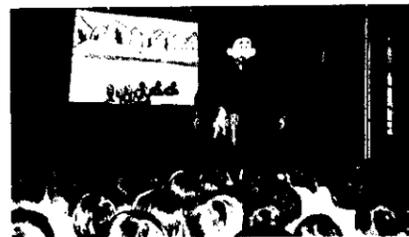
村のあき

★交通安全パレード 四月六日、春の全国交通安全運動の初日、中里村交通安全協会、中里村交通指導隊による交通安全パレードを実施しました。パトロールカー三台とジープで村内を巡回し、交通安全を呼びかけました。★衛生推進委員、母子推進委員会、衛生推進委員、母子推進委員と母子推進委員の合同研修会が保健センターで開かれました。健康管理室の仕



走っている少年
高道江小(四年)
富井孝幸君

歩いていてるところをはんがでつ
つりおしんくろつしたところは、かみの
けり。わけは、毛糸をつけようとする
は、のりがついでつけにくいからです。よ
うなまと思つたところは、うです。走っ
ているところがよくわかるように、くふう
しました。



▲おもしろい顔ハッハッ

新鮮な感動が

日本の昔話を人形劇で見る、タカラのシ
マ人形劇団が4月24日、中里、両の両保育所
を訪ねました。カモを100羽も一度にとろ
うと欲をかき、反対にカモに連れ去られた「カ
モとりごんべいさん」を演じてくれました。
お兄さんとお姉さんの明るく大きな声とすば
らしい語り口に子どもたちは、すっかり昔話
の世界にとけこんでいました。



▲昔話の世界に興味津津の子どもたち

みなさんの情報をお待ちしています (内線22番)



▲袋詰めが間に合わないほど

五月三日、四日の二日間
村営養魚場で鯉の即売会が
開かれました。
この即売会は、村内はも
とより十日町市、津南町か
らもおおぜいの人がかけつ
け好評です。成勢よくはね
る鯉を手際よく袋詰めにし
二日間で百二十万円の売上
がありました。



盛況の鯉



幸子ねえ、着物を着た
りぬいだりするのが好き
の、人形で遊ぶのも好き
なんだ。女の子らしいでし
う。妹ができておねえちや
んになったので、おばあち
やんに手間をかけるんじや
ない遊びもできるんだ。
白羽毛 鈴木幸子ちゃん
(父・那母文字)



家の主役

おしどり夫婦



♥大島 勝利 さん (如来寺)
♥ ケイ子 さん
恋愛結婚ですか……♥親同志が知り合いでし
たので「オラドコヘナジヨゲイ」といった
具合で見合いをしました。♥以前から顔を
知っていたので「わたしでよければ」と見
合いに志じました。
初キッスは……♥結納を終やしてからです。
♥この人以外に堅いんですよ。ハッハハ。
二人で仕事をしていて……♥相談をしながら
できますので能率的です。♥ケンカをした
日などは、お客さんにグチもごぼしたいけ
ど、この人が後ろにいてはネーニ。
お互いのよさは……♥オレの愛想の無い部分
をカバーしてくれます。♥ウーン。思いや
りがありますよ。
おもしろいエピソードは……♥沖縄の新婚旅
行の際、夜ハッスルしすぎて船に乗り遅れ
たことかなあ。

芋沢、田沢、東田沢の三
集落のお年よりで組織する
無事学院は、昭和五十九年
度の環境美化運動の地域模
範活動団体として県知事か
ら表彰を受けました。県下
でも表彰を受けたのは
八団体で十日町、中魚
の中では、無事学院だ
けです。
主な活動は、国道一
・七号線のゴミ拾い、
アキ缶拾い、田沢虚空土
蔵除菌公園の清掃、集
落内の道路のゴミ拾い、
神社などの清掃です。
会長石沢貞一さんは
「人家のないノゲの坂

地域に根ざす老人パワー

無事学院優良団体に



▲だれがこっけんに捨てらんだべか

には、アキ缶のポイ捨てが
多い、拾っている所を見て
少しでもやめてくれれば」
と話しています。
こうした地道な活動を大
いに広げたいものです。



▲新鮮な山の幸大好評

過疎と過密の交流で何か
を得たいと始められた東京
錦糸町カッパ祭りへの参加
も今年で五年目を迎えます。
今年も、中里クラブ(会
長中島正人氏)、商工会青年
部、村内有志等十一人が五

下町との交流深まる

カッパ祭り

月五日カッパ祭りに参加し
てきました。
村から、二トトラックに
満載していったウド、ゴゴ
メ、タラノ芽などの山菜、
シメジ、シイタケ、車ぶ、チ
マキ、笹ダンゴなどは、全
部売り切れました。
事前にはふるさと中里の会
員等に案内状を出してあ
ったこともあって、郷土出
身者もおおぜい来てくれ
ふるさとの味覚を買い求め
てくれました。
八月十五日の三十周年祭
には、錦糸町の若者による
出店が計画されています。

角間ねじり杉 県指定文化財に

弘法大師がねじったと伝えられている
角間のねじり杉が三月二十九日、天然記
念物として、県指定文化財の指定を受け
ました。
この杉は、根元から枝に至るまで樹皮
が右巻きにねじれている非常にめずらし
い杉です。その昔、この地を訪れた旅の
坊さんが、一杯の水もくれない村人に、
仏のありがたさを知らせたいと、かたわ
らにあった小さな杉をねじったと伝えら
れています。



▲林木育種上貴重なねじり杉

真心のこもった作品 老人工芸品展

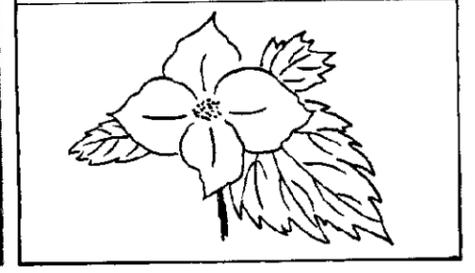
お年よりのたちの真心のこもった作品で
有名な老人工芸品展も、十数年の歴史が
あります。
今年も四月二十四・二十五の両日、老人
福祉センターで開かれ、フラ細工、竹細
工、刺シユウ、反物などの力作が出品さ
れました。午後からの即売会では、おお
ぜいの人が訪れ「よくまあ、たまげたこ
といいながら、テゴや手カゴを買い求め
ていました。



▲こうした技術を残したいもの

すばらしい自然

・シラネアオイ
雪がとけて新緑萌えるころ、小さな谷川筋
に点々と目につくシラネアオイは、大変鮮や
かな青紫色の四枚の花弁をもつ山草です。
数年前、苗場山に登った時5~6合目あた
りの登山道脇に小さな群落が見られました。
この花を見るととてもさわやかな気分にな
ります。
やや高地性の植物で村内では、小松原、当
間山、田代などの沢筋に見ることができます。
キンボウゲ科 花期5~6月草丈50~60cm
文・絵 井ノ川 求さん



交通安全の情報

陽気ボカボカ
歩行者も
心がゆるみがち
春の陽気、歩行者もド
ライバーも気がゆるみがち
です。
加害者、被害者にならない
ように注意しましょう。

・飲酒運転検挙者数	8人
・無免許運転違反	2人
・事故発生件数	0件
・死亡事故ゼロ	569日

(4月末累計)

南雲	新一	田中
勝山	裕子	静岡
吉桑	隆志	宮中
藤巻	洋子	川西
樋口	勝彦	荒屋
大川	房枝	十日町
南雲	勝行	堀之内
福崎	洋子	十日町
南雲	海	本屋敷
桑原	正枝	重地
羽鳥	トヨ	新屋敷
桑原	ヨシ	倉俣
鈴木	キミ	芋川
山田	彌吉	土倉
鈴木	セン	角間
村山	太郎	島

人生往来

おめでた

久実(藤ノ木孝二)	小出
由美(渡辺 秀二)	宮中
妃奈子(松原秀映)	山崎
実代志(吉桑正巳)	田沢
勝(羽鳥 純雄)	新屋敷
勇二(岡村 勇)	山崎
典幸(樋口 勝美)	荒屋
賢志(清水 康秀)	荒屋
麻里(上原 章)	上山
裕子(山田 繁信)	田代
舞(鈴木 正)	原町
ご結婚	
太島 喜一	芋沢
上村 純子	十日町
樋口 貞晴	通り山
樋口 公子	津南町